

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY 名古屋 ちくさ

題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 名古屋東急ホテル
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 萩原 喜代子
幹事 渡邊 源市
広報・会報委員長 池 森 由 幸

No. 10 ローターリーを实践し みんなに豊かな人生を

2013~2014年度 RI会長 ロン D. パートン

今日の例会

第1471回 平成25年 9月17日(火)

ガバナー公式訪問

(名古屋東・名古屋昭和・名古屋千種合同例会)

名古屋東急ホテル バロック

ホストクラブ: 千種RC

国際ロータリー第2760地区

2013~2014年度ガバナー

田中 正規 (たなか まさのり) ガバナー紹介



生年月日 1948年(昭和23年)7月25日
所属クラブ 西尾ロータリークラブ
職業分類 病院
勤務先・役職 (医法)西尾病院 理事長
所在地 〒445-0824 西尾市和泉町22

【ロータリー歴】

1991年4月 西尾ロータリークラブ入会
2000~01年 第43代クラブ幹事
2007~08年 第50代クラブ会長
2002~05年 地区財団奨学委員会 委員
2005~06年 地区財団奨学委員会 副委員長
2010~11年 西三河分区I.M. 実行委員長
2011~12年 ガバナーノミニ
2012~13年 ガバナーエレクト

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター
米山功労者/米山功労法人

【経歴】

1973年 久留米大学医学部 卒業
名古屋大学医学部 第2外科入局
1980年 医学博士
聖霊病院 外科勤務
1983年 医療法人 田中会 西尾病院 外科勤務
1986年 医療法人 田中会 西尾病院 院長
1992年 医療法人 田中会 西尾病院 理事長
2009年 社会福祉法人 誠正会 理事長

【公職】

2006年 西尾幡豆医師会 会長

《ガバナー方針》

～磨いて 輝こう～

- ・会員の意識向上
- ・クラブのパワーアップ
- ・地区の改革
- ・会員増強

先週の例会

第1470回 平成25年 9月10日(火) 晴
講演: “オーストラリアから日本の医療を考える
—2012VTTプロジェクトに参加して”
愛知県がんセンター中央病院
消化器外科 三澤 一成様

◆それでこそロータリー

◆ビジター紹介 1名

◆ゲスト紹介

愛知県がんセンター中央病院
消化器外科 三澤 一成様
日本予防医学協会 東海事業部長 井上 如水様
(渡邊幹事ゲスト)

◆出席報告

会員 40(36)名 出席 30名
出席率 83.33%
前々回 8/27(修正出席率) 97.14%

渡邊幹事報告

- 1) 次週はガバナー公式訪問 東・昭和・千種3RC 合同例会です。当クラブがホストを務めますので よろしくお願ひ致します。
3Fバロックが会場になります

- 2) 本日例会終了後、臨時理事役員会を開催致します。理事役員の方々は、このままお残り下さい
- 3) ロータリーチャリティーイベント「ワールドフードふれ愛フェスタ」のご案内を配布致しております。

萩原会長挨拶

皆さま こんにちは！

本日はビジターとして京都ロータリークラブ 田中稔章さまをお迎え致しました。お名刺によれば公益社団法人京都府物産協会 京都のれん会 副会長でいらっしゃいます。そして株式会社 田中長奈良漬店 代表取締役社長でいらっしゃいます。明日から 松坂屋デパートにて「京都物産展」開催のため 来名され 本日 千種 RC にビジターとしてお出で下さいました。どうぞごゆっくりおすごしくださいませ。また 本日のゲストと致しまして 愛知県がんセンター中央病院 消化器外科 三澤一成様 日本予防医学協会 東海事業部長 井上 如水様 お二人におこしいただきました。

三澤先生には 後ほど ご講演をいただきます。テーマは、「オーストラリアから日本の医療を考えるー2012VTTプロジェクトに参加して」です。三澤先生とは VTT のパーティーで 席がお隣り同志になりまして オーストラリアの話に花が咲きました。と申しますのも 私自身もオーストラリア・メルボルンによく行っておりました事もあり 通ずるものがあつたのではないかと思います。先生のお医者さまとしてのお立場で 違った国の医療について とても熱心にお話しされました。その熱意に感動し 私ども千種クラブに是非ご講話を頂きたい旨のお願いを申しました。先生はその場で快諾下さいまして本日ここにご来席頂くことになりました。日々お忙しいお立場でありながら本当にようこそお出で下さいました。そして 我々にも 非常に分かりやすくお話しを頂きあつという間の25分間でした。三澤先生 有意義なご講演 本当にありがとうございます。先生のますますのご活躍を お祈り申し上げます。

◆講演 “オーストラリアから日本の医療を考えるー2012VTTプロジェクトに参加して”
愛知県がんセンター中央病院 消化器外科
三澤 一成様
(紹介 萩原会長)



2012年6月の1ヶ月間、ロータリー財団のプロジェクトである職業研修チーム(VTT: Vocational Training Team)のメンバーとして、オーストラリアおよびソロモン諸島(RI 9600地区)を訪問し研修を行いました。オーストラリア第3の都市であるブリスベンでは最先端の外科医療の現状を、地方都市であるキングガロイでは地方医療の現状を見ることができました。

オーストラリアでは、肥満が大きな社会問題になっており、病的肥満に対して胃や腸の切除を行う肥満外科手術(Bariatric Surgery)が広く普及しています。食事の欧米化などにより、日本でも肥満率は増加して

おり、将来的には我が国でも肥満外科手術があたりまえになるかもしれません。また、腹腔鏡下手術(お腹を大きく切らずに、小さい穴から行う手術)は、日本でも急速に普及してきていますが、オーストラリアではほとんどすべての手術が腹腔鏡下手術で行われています。腹腔鏡下手術の割合の高さには驚かされました。手術の技術では日本と大きな違いはありません。しかし日本の医師が丁寧さを重視するのに対し、オーストラリアの医師は効率を最も重視します。そのため私たちよりシンプルかつ短時間で手術が行われていました。疾患などの背景は違いますが、医療や手術に対する考え方といったところにも国民性の違いが反映されていると感じました。

地方都市のキングガロイでは、病院によっては常勤の医師はおらず、きわめて限られた医療しか提供出来ませんが、どんな小さな病院にもヘリポートや都市部(ブリスベン)とのテレコミュニケーションシステムが完備されていたのには驚きました。地方医療に対して州単位でバックアップ体制を整えていますので、医師はいつでも都市にいる専門家に相談ができ、必要があればヘリコプターで移送できるようになっています。また血液検査やレントゲンなどの画像検査の結果はオンラインで共有されており、転院先の病院でも容易に確認することが可能になっています。州単位での医療ネットワーク整備により、広い国土のどこでも一定レベルの医療を無駄なく提供できるようにしています。

もう一つ、特徴的な医療システムとして“かかりつけ医(GP: general practitioner)”制度があります。GPは個人のクリニックで患者を診療しますので、日本の開業医に近いですが、そのシステムは大きく違います。患者は病気になったら必ずGPを受診することになっています。GPはすべての疾患を診察し、病院で専門的な検査や治療が必要と判断した場合のみ病院に紹介します。GPは病気をフィルタリングする役目も持っているため、専門病院に軽い病気の人が行くことを防いでいます。日本では軽い病気でもすぐ大きな病院を受診する傾向があります。患者にとって安心できるかもしれませんが、大きな病院では殺到する軽い疾患の患者のために、本来の役割である専門的医療を行う余裕がなくなってしまう。日本でも国としてかかりつけ医制度の推進を考えていますが、現時点では十分な制度が整っているとはいえません。

オーストラリアでも、我が国同様、医療関係者の人手不足や医療費の増加など、多くの問題を抱えています。しかし州などの大きな単位で医療ネットワークを構築し、その中で機能の分担・集約をするなど限られた医療資源を効率よく使うことを考えたり、混合診療の導入により民間保険の適応範囲を広げるなど、継続可能な医療システムの構築のためにいろいろな工夫がなされています。日本でも超高齢化社会を見据え、国民全体の問題として医療システムについての十分な議論が今後不可欠であると思います。

この1ヶ月の研修は、私にとってかけがえのない経験になり、多くのことを学ぶことができました。財団、VTT委員会、その他のロータリアンの皆様、現地でお世話をいただいた9600地区のロータリアンおよび各医療機関の皆様には心から感謝を申し上げます。

※ニコボックスは次回掲載させて頂きます

次回例会：平成25年9月24日(火) 3F ルネッサンス
友愛の日